

# 《多死社会を迎える日本》

## 国民一人ひとりが

### 「幸福な最期」を選び取るために

～医療、介護、街づくり、企業はどのようにあるべきか～

わが国は高齢化の進展に伴い、2030年には年間死亡者数が160万人を超える多死社会を迎えつつあります。単身者が増えていく中で、病床数の削減、労働人口の減少による介護の担い手不足、年金受給額の抑制、医療保険や介護保険の自己負担増など、国民を取り巻く環境は、今後厳しさを増していきます。

そのような中で、国民一人ひとりが、自分らしく、「幸福な最期」を主体的に「選び取る」ためには、医療や介護といった既存の社会保障に留まらず、地域のコミュニティ、個々人の働き方やそれを支える企業のあり方など、社会の仕組み全体の変革が迫られているのではないのでしょうか。同時に、我々国民の死生観・価値観をも問い直す時期に来ているのかもしれない。

こうした認識に基づき、今般のシンポジウムでは、多死社会を迎える今後の社会のあり方について、医療、介護・住まい、街づくり、仕事と介護の両立支援等の各方面で課題解決に取り組む方々を交えて議論を深めます。多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

**日時** 2018年9月28日(金)14:00～17:30 (開場13:30)

**会場** 経団連会館 国際会議場 右記地図

東京メトロ「大手町」駅下車 C2b出口直結

**定員** 300名 参加費無料・事前登録制

**お申込** 2018年9月20日(木)までに下記ホームページ

よりお申込みください。

[https://www.jri.co.jp/seminar/180928\\_486/detail/](https://www.jri.co.jp/seminar/180928_486/detail/)

会場の都合上、定員に達した場合、抽選・申込み締切とさせていただきます



## プログラム

**開会挨拶** 瀧崎 正弘 株式会社日本総合研究所 代表取締役社長 …14:00

**第一部 問題提起 多死社会が抱える課題** …14:05

齊木大 「多死社会を迎える日本 2040年の姿」株式会社日本総合研究所 創発戦略センター

齊木乃里子「“明るい孤独死”が迎えられる社会へ」株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門

**第二部 パネルディスカッション 「幸福な最期」を選び取るために** …15:00

[テーマ] ① 最期を迎える場所・最期の迎え方 ～個人が選択できる社会へ～

② 医療のあり方 ～治す医療から幸福を支える医療へ～

③ 地域コミュニティ ～地域ぐるみでの支え合い構築へ～

④ 働き方・企業 ～仕事と介護が両立できる職場作りへ～

※途中、休憩あり

[パネリスト] 下河原 忠道 氏 株式会社シルバーウッド 代表取締役社長

佐々木 淳 氏 医療法人社団 悠翔会 理事長

勝又 玲子 氏 武蔵野市高齢者支援課相談担当課長

角田 とよ子 氏 株式会社wiwiw キャリアと介護の両立相談室長

西沢 和彦 株式会社日本総合研究所 調査部 主席研究員

[モデレータ] 紀伊 信之 株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門



## パネリストプロフィール <登壇順>

### 下河原 忠道 氏 株式会社シルバーウッド 代表取締役社長



家業の鉄鋼会社での勤務を経て、2000年に株式会社シルバーウッドを設立し、スチールパネル工法の高齢者住宅の建築を手掛ける。2011年より「安心して生ききる場所」をコンセプトに、サービス付き高齢者向け住宅「銀木犀」を運営開始（現在11棟を運営）。認知症に関する社会の理解促進のため、認知症を疑似体験できる「VR認知症」を企業や学校等に提供している。アジア太平洋高齢者ケア・イノベーション・アワード2015大賞を受賞。

### 佐々木 淳 氏 医療法人社団 悠翔会 理事長



1998年筑波大学卒業後、三井記念病院に勤務。東京大学医学部附属病院消化器内科等を経て、2006年MRCビルクリニックを設立。2008年医療法人社団 悠翔会 理事長に就任。現在、11拠点、総患者数約3500人、年間の訪問件数はのべ10万件を超える首都圏最大の在宅医療ネットワークを運営。1万人以上の会員を抱える多職種の定期勉強会グループ「在宅医療カレッジ」を主宰。

### 勝又 玲子 氏 武蔵野市高齢者支援課相談担当課長



1987年、武蔵野市役所入庁。保健師。母子保健、精神保健担当や在宅医療・介護連携担当を経て現職。武蔵野市では、「地域包括ケアシステム」を「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり」と言い換え、「自助」「共助」「公助」のバランスのとれた仕組みづくりを目指し、様々な取り組みを進めている。2025年に向けた目標を「いつまでもいきいきと健康に、ひとり暮らしでも、認知症になっても、中・重度の要介護状態になっても、誰もが住み慣れた地域で生活を継続できる」と定め、市民を含めた地域のすべての関係者が共有し、一体となって取り組みが進められるよう尽力している。

### 角田 とよ子 氏 株式会社w i w i w キャリアと介護の両立相談室長



お茶の水女子大学卒業。高校教員、大学教務補佐員を経て、2004年より社会福祉法人浴風会介護支え合い電話相談室長として、のべ4万5千人以上の介護家族の悩みに寄り添った実績をもつ。2016年より株式会社wiwiwシニアコンサルタントとして企業や自治体で介護セミナー講師を務める。主な著書として「介護家族を支える電話相談ハンドブックー家族のこころの声を聴く60の相談事例ー」（中央法規）など。

### － 株式会社日本総合研究所 －

#### <問題提起>



#### 齊木 大 創発戦略センター シニア<sup>o</sup>シャリスト

2005年京都大学工学研究科都市環境工学専攻修了後、(株)日本総合研究所入社。  
専門分野：地域包括ケア／介護保険制度／ケアマネジメント



#### 齊木 乃里子 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネジャー

1999年京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了後、名古屋商科大学、近畿大学非常勤講師を経て、2001年(株)日本総合研究所入社。  
専門分野：マーケティング戦略／シニア・介護ビジネス戦略

#### <パネリスト>



#### 西沢 和彦 調査部 主席研究員

1989年一橋大学社会学部卒業。社会保障制度改革国民会議委員（2013年まで）。主書に『税と社会保障の抜本改革』（2011年、日本経済新聞出版社）

#### <モデレータ>



#### 紀伊 信之 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネジャー

1999年京都大学経済学部卒業後、(株)日本総合研究所入社。2018年4月より高齢社会イノベーショングループ 部長。  
専門分野：シニア・介護ビジネス／事業戦略・マーケティング

#### ■お問い合わせ先

株式会社日本総合研究所 シンポジウム事務局 担当：山根・長野  
〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目18番1号 大崎フォレストビルディング  
TEL: 03-6833-6755 E-mail: 200010-sympo@ml.jri.co.jp